

問 市主要施策事業の反省を活かせ

答 事業日程を早期に示し再考する



佐藤 高清 議員 無会派

問 桜まつりの今後は。

答(副市長) 新たな観光スポットとして、桜並木ライトアップ事業に取組み始めた所で認知不足は否めない。令和6年度より一層の周知と、昨今桜の開花時期が早まっていることも加味し「まつり」とすることも協議中。

問 芝桜まつりの今後は。

答 花見以外で来園者が楽しめるよう、野菜、花き即売会や軽食が出来るように開催。

問 藤まつりの今後は。

答 今年度から「藤見の会」とし開催しており、来年度も地域伝統文化や歴史に触れてもらう貴重な機会として開催する。

問 市民体育大会に代わる事業展開は。



▲桜並木ライトアップ

答(教育部長) 今年度「YATOMIスポーツフェスティバル」とし開催した。今後も継続的にスポーツ普及として開催していく。

問 健康まつりに代わる事業展開は。

答(健康福祉部長) 「やとみ健康セミナー」として開催している。



▲スポーツフェスティバル

問 コミュニティ事業の衰退検証を

答 反省は次年度に反映させる

○コミュニティ事業の検証等について以下を問う。

問 運動会・夏祭り・防災訓練や秋の祭礼等の検証は。

答(市民生活部長) 各コミュニティ推進協議会で反省会を行い次年度に反映できるよう引継いでいる。

問 会費の扱いは適切か。

答 原則、コミュニティ推進協議会内ルールに基づいて適切に扱っている。

問 事務局の在り方は。

答 事務局職員は、協議会内に属する位置付けで事務活動支援している。

問 P D C Aサイクルが機能しているか。

答 経費等執行管理は、原則、会計担当役員が担い、執行が適正か監査を監事が担っているので適切に機能している。

問 市民協働課が主体的に関わらないのか。

答 地域自治組織に対し、人的支援として関わり、市と地域を繋ぐパイプ役を担っている。

問 事務局職員は「弥富市公金等の適切な取扱指針」に基づいて適切な扱いをしているか。

答 各事業終了後、実績報告書で確認している。コミュニティ推進協議会に関する現金等は、公金、準公金、その他私費に当たらず指針適用外。



▲弥生小学校区防災訓練の様子